

# 教頭会会報

宮崎県公立小中学校教頭会

第141号 2022

令和4年7月29日発行



## 〈 表 紙 〉

### 【写真左上】 東臼杵支会「桃源郷岬（門川町庵川）」

「桃源郷岬」は日向灘を一望する門川町遠見半島遠見山の裾に位置し、約20万㎡の敷地に紫陽花、桃の花、を中心に桜やフジ、モミジなどが植栽されており、四季を通して花木が楽しめます。門川町出身の方が、1998年に同土地を買い取り、私費を投じ、整備を続けている私設庭園です。

### 【写真右上】 延岡支会「旭化成繊維延岡株式会社」※恒富小図書室から撮影

株式会社旭化成の中で、繊維製造業を営むグループです。棉の木から採れるコットンリンターを主原料として、糸「ベンベルグ」や不織布「ベンリーゼ」などを製造しています。市内どこからでも眺めることのできる工場の煙突は180mの高さがあり、街のシンボリックな存在です。工場の近くには旭化成展示センターがあり、年間多くの小学生が遠足などで見学に訪れています。

### 【写真左下】 日向支会「日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区（日向市立美々津小学校）」

美々津は古い歴史を持つ港町で、中世には集落が営まれていたと考えられており、江戸時代に入ると高鍋藩の商業港として重要視され、藩主秋月氏もこの港を参勤交代として利用していました。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています上町・中町・下町は、耳川河口に築かれた港の隣接地に当り、江戸時代から明治時代の平入・妻入建物が数多く残されています。古い敷地割や石畳等は、美々津の歴史的景観を構成する重要な要素になっています。

### 【写真右下】 西臼杵支部「五ヶ瀬町浄専寺の桜（五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校）」

毎年桜の咲く季節になると、町内のしだれ桜が美しく咲き誇ります。中でも浄専寺の桜は県内でも有名な花見のスポットです。今年も美しく咲き、コロナ禍ではありますが多くの観光客が花見に訪れました。うどんやそばのお店も出ており、この時期の風物詩となっています。

# あ い さ つ

宮崎県公立小中学校教頭会

会長 泊 俊 一 郎

令和4年度宮崎県公立小・中学校教頭会会長をさせていただきます広瀬小学校の泊俊一郎と申します。微力ではありますが、県内の教頭先生方のご理解とご協力をいただきながら、本会の発展のために力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教頭先生方におかれましては、4月・5月・6月と学校の中心的なリーダーとして学校運営に奔走され、様々な教頭業務に追われ、多用な日々を過ごされたのではないのでしょうか。また、今年度新たに教頭職に昇任された教頭先生方、異動のあった教頭先生方にとりましては、職場の雰囲気慣れるのに大変気を遣われたことと拝察いたします。

さて、私たちの学校現場では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために様々な対応を行っているところです。そしてこれからは、これまでの2年間とは違った、まさしく「WITHコロナ」の時代を迎えることになりそうです。昨年度まで、学校行事や集会等の思い切った削減や時間の短縮を実施し、このことは、「働き方改革」に加速をつけることにもつながりました。今後も引き続き、行事等の精選を行い、学校での「働き方改革」を推進し、教育の質の向上を図っていききたいものです。

また、本年度も更に、ICTに注目が集まる年になると思います。新型コロナウイルス感染症により「GIGAスクール構想」が前倒しで実施され、児童生徒には、各々に1台のタブレットPCが配付されています。本校においても職員研修等を実施し、現在、タブレットを使った授業風景が当たり前になっています。様々な教科等で積極的に活用していますタブレットPCは、学習指導要領での「主体的・対話的で深い学び」や「Society5.0時代の学び」で挙げられている「公正に個別最適化された学び」を実現するために、大変重要で有効なツールです。また、昨年度までに、オンライン授業を実施した学校が多数あると聞いています。中には、今年度「オンライン参観日」を実施予定している学校もあるようです。オンライン授業を実施する上で大切なことは、「リアルな教室」と「デジタルな教室」の特性を明確にし、それぞれのよさを生かすことではないかと思えます。オンライン授業については、各学校で引き続き、実践を積み重ねていくことが必要ようです。

各支会では、コロナ禍のなか、研究主題である「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」について、研究の推進を工夫し、少しずつ研究の実践をされている時期だと思えます。そして、ご多用の折、本会報にご寄稿いただきました皆様、並びに編集に携わっていただきました皆様に、心より感謝申し上げます。今年度も会員全員で、「県民の期待に応え、学校教育の目標を達成することを究極の目的とする。そのために、自ら研究と修養に努めることを期する。」という教頭会の基本方針に向けて、共に頑張っていければと思っております。お互いに連携して、宮崎県公立小・中学校教頭会を盛り上げていきましょう。

最後になりましたが、日頃から本会を支えていただいております宮崎県教育委員会及び宮崎縣市町村教育委員会連合会、宮崎県校長会をはじめ、教育関係諸機関・諸団体の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後共、ご支援を賜りますようお願いいたします。

# 支会だより

## 日向支会

### 1 構成

本支会は、小学校10校、中学校4校、小中一貫校3校、分校1校の計22名の副校長・教頭で構成されている。

### 2 支会役員

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	山之口 雅 彦	日向市立富島中学校
副会長（総務担当）	飯 干 光 誠	日向市立財光寺中学校
副会長（研修担当）	宮 本 伸二郎	日向市立富高小学校
副会長（法制調査担当）	多 田 健 次	日向市立塩見小学校
会 計（ 県 ）	橋 口 正 範	日向市立日知屋小学校
会 計（ 市 ）	井 上 成二郎	日向市立東郷学園（東郷中）
研 究 部 長	今 村 富 貴	日向市立大王谷学園中等部
広 報 部 長	甲 斐 賢 剛	日向市立美々津小学校

### 3 研究・研修の概要

#### (1) 研究の目的

- 教頭としての資質向上を図り、学校運営の活性化に資する。

#### (2) 研究の方向

- 小学校班と中学校班に分かれ、学校管理や学校運営上の課題を究明し、教頭としての資質を高める研究を推進する。

班	本年度研究テーマ	発表等
小学校班	ひゅうが学びの学校の推進 ～日向市の三位一体の教育を～	令和7年度 小学校班 提言発表（第1課題） 紙上発表（第4課題）
中学校班	教職員の指導力を高めるための教頭のマネジメント ～職員の心身の健康を保つ支援の在り方～	

#### (3) 研究の見通し

	1 学期	2 学期	3 学期
	全体会、小中別部会	全体会、小中別部会	全体会、小中別部会
小学校班	研究テーマ設定及び協議	研究実践	まとめ、次年度の計画
中学校班	研究テーマ設定及び協議	研究実践	まとめ、次年度の計画

#### 4 令和4年度 研修計画

月	研修会場	研修内容
4 月	日向市役所	教育長講話 市教育委員会案件 全体研修会 班別研修会
5 月	日向市立財光寺中学校	会場校校長講話 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
6 月	日向市立美々津小学校	会場校校長講話 全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
7 月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
10月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
11月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
12月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
1 月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会 市教育委員会案件 班別研修会
2 月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会、市教育委員会案件 研究のまとめ 次年度の方向性
3 月	日向市教育研究所 (日向市立日知屋小学校)	全体研修会、市教育委員会案件 研究のまとめ 次年度の方向性

※ 7月以降の研修会場については未定

#### 5 その他の研修

##### 【令和4年度日向市立小中学校教頭会夏季研修会】

##### (1) 目的

- 自己啓発研修の一環として、教育の新しい動向等を知り、学校運営への参画意欲を高めるとともに、教頭としての資質の向上を図る。

##### (2) 研修計画（会場：大王谷コミュニティセンター）

回	月日（曜）	講 師	内 容
第1回	6月30日（木）	日向市立富高小学校 校 長 四角目 浩行	講話・演習 「教育の現状と課題（仮題）」
第2回	7月 6日（水）	日向市教育委員会 教育長 今村 卓也	講話・演習 「教育の現状と課題（仮題）」
第3回	7月13日（水）	日向市立財光寺中学校 校 長 鈴木 利明	講話・演習 「教育の現状と課題（仮題）」
第4回	7月20日（水）	日向市立日向中学校 校 長 三田 明夫	講話・演習 「教育の現状と課題（仮題）」



# 支会だより

## 東臼杵支会

### 1 構成

東臼杵支会は、門川町4校（小学校3校、中学校1校）、美郷町4校（小学校1校、中学校1校、義務教育学校2校）、諸塚村3校（小学校2校、中学校1校）、椎葉村6校（小学校5校、中学校1校）の2町2村17校の19名の教頭により構成されている。

### 2 支会役員

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	渡 部 浩 二	草 川 小 学 校
副 会 長	松 崎 和 美	美 郷 南 学 園
副 会 長	眞 方 崇 能	荒 谷 小 学 校
副 会 長	角 内 誠	椎 葉 小 学 校
総 務	渡 部 浩 二	草 川 小 学 校
会 計	小 島 琢 哉	門 川 小 学 校
研 究 部 長	福 重 雄 一	門 川 中 学 校
法 制 調 査 部 長	瀧 川 美 和	五 十 鈴 小 学 校
広 報 部 長	瀧 川 美 和	五 十 鈴 小 学 校

### 3 令和4年度 県教頭会東臼杵支会活動目標

- (1) 学校管理及び学校運営上の諸問題についての研修を深めるとともに、教頭としての資質を高め、各学校における諸教育活動の充実を図る。
- (2) 学校の教育的課題の具体的な解決のための研修を行う。
- (3) 教頭間及び学校間の連携を図り、各校における積極的な教育活動を推進する。

### 4 研究の基本方針

- (1) 研究活動を積極的に推進し、教頭としての資質を高め、学校教育の課題解決に努める。
- (2) 学校管理や学校運営上の課題を発見し、社会の変化に対応した学校経営におけるビジョンの具現化及び合理化に努める。
- (3) 教頭間及び学校間の連携を図るとともに、生涯学習の基盤をなす学校教育に対する町村民の期待に応えるよう教職員の研修体制の確立に努める。

### 5 研修の方法

- (1) 県教頭会東臼杵支会研修会を実施し、研究を推進する。
- (2) 県教頭会研修大会における提言課題について研究する。
- (3) 県教頭会との連携を図るとともに、各研修大会に積極的に参加し、その成果を会員に還元する。
- (4) 学校管理、学校運営に役立つ情報の収集に努め、情報の共有化を図る。

## 6 令和4年度東臼杵支会教頭会の主要行事

期 日 (曜日)	活 動 内 容
6月28日 (火)	県教頭会東臼杵支会 第1回役員会(理事会) ※オンライン
7月～8月	東臼杵支会各地区夏季研修会
7月28日 (木) ～ 7月29日 (金)	全国公立学校教頭会研究大会<岩手大会> ※オンライン <参加者> ○門川町立門川小学校 教頭 小島 琢哉 ○門川町立草川小学校 教頭 渡部 浩二
8月17日 (水) ～ 8月19日 (金)	九州地区公立学校教頭会研究大会<鹿児島大会> <参加者> ○美郷町立美郷南学園 教頭 松崎 和美 ○椎葉村立椎葉小学校 教頭 角内 誠 ○門川町立草川小学校 教頭 渡部 浩二
11月7日 (月)	県公立小中学校教頭会研究大会<宮崎市>
3月上旬	県教頭会東臼杵支会 第2回役員会(理事会)

## 7 その他の研修

### 【令和4年度 学校経営研究会】

#### (1) 目的

- 学校経営に関する研修を行うことにより、それぞれの資質を高める。
- 社会の変化に適切に対応する学校経営のための諸研修を行う。

#### (2) 研修計画

回	日 時	講 師・主な研修内容	会 場
第1回	令和4年 7月28日 (木) 18:30～20:00	門川町教育委員会 課長補佐 鈴木 重徳 様 ○県教育委員会の動向等について	門川町役場 3階会議室
第2回	令和4年 8月 5日 (金) 17:00～18:30	国富町立木脇中学校 校 長 畑中 道一 様 ○管理職としての心構え等について	門川町役場 3階会議室

# 支会だより

## 延岡支会

### 1 構成

本支会は、延岡市内の小中学校42校（小学校26、中学校15、義務教育学校1）の教頭で構成されている。

### 2 支会役員

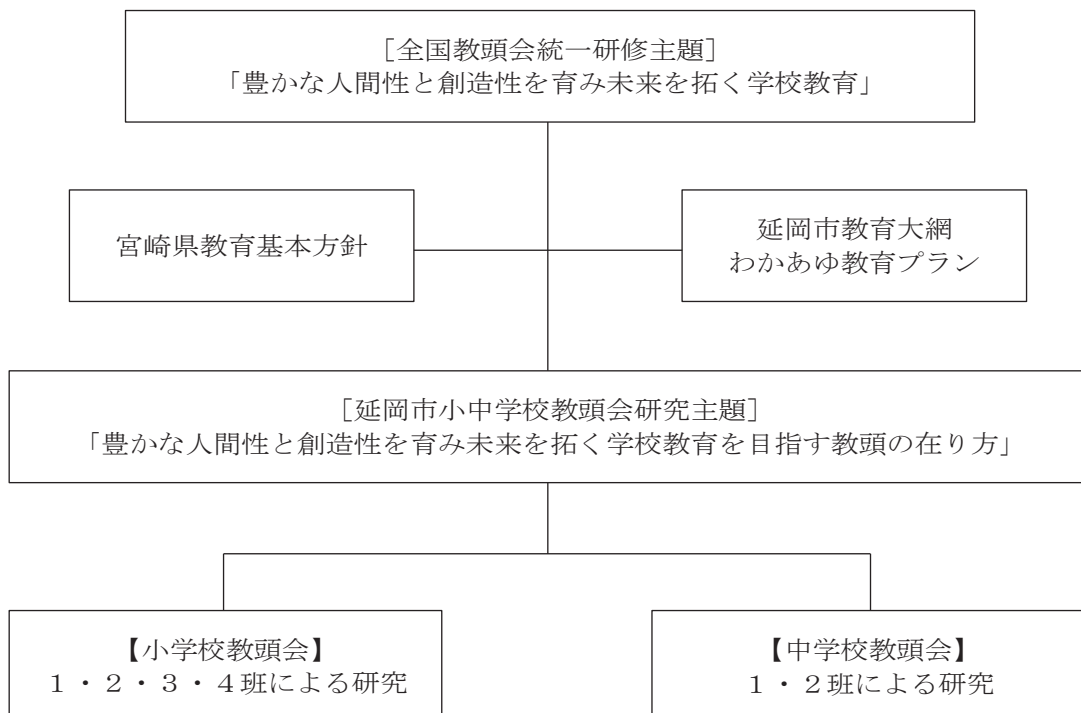
役 職	氏 名	学 校 名
会 長	島 田 尚	恒 富 中 学 校
副 会 長	日 高 克 哉	岡 富 小 学 校
副 会 長	小 野 秀 俊	延 岡 中 学 校
総 務	篠 原 光 教	緑ヶ丘小 学 校
会 計	宮 本 一 郎	方 財 小 学 校
研 究 部 長	菊 池 みどり	北 川 中 学 校
法 制 調 査 部 長	上中別府 利一	岡 富 中 学 校
広 報 部 長	松 浦 俊 二	恒 富 小 学 校

### 3 研究の概要

#### (1) 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育を目指す教頭の在り方」

#### (2) 研究の構想





#### 4 研究課題（令和4・5年度）

##### (1) 小学校

班	分科会	研究課題	発表
1班	第 2	子どもの発達に関する課題	県大会提言（R 5）
2班	第 1	教育課程に関する課題	県大会紙上発表（R 5）
3班	第 1	教育課程に関する課題	県大会提言（R 4）
4班	第 2	子どもの発達に関する課題	県大会提言（R 4）

##### (2) 中学校

班	分科会	研究課題	発表
1班	第 4	組織・運営に関する課題	県大会紙上発表（R 4）
	第 4	組織・運営に関する課題	県大会提言（R 5）
2班	第 5A	教職員の専門性に関する課題	県大会提言（R 4）
	第 5B	教職員の専門性に関する課題	県大会紙上発表（R 5）

#### 5 主な事業予定（令和4年度）

月	研修内容等
5	○小・中合同研修会（講話） ○小・中別研修会（役員組織編成、研究内容等確認）
6	○小・中別研修会（講話、課題研究、情報交換等）
7	○小・中別研修会（講話、課題研究、情報交換等） ○夏季特別研修（講話等）
8	○全国研究大会：岩手県 九州地区研究大会：鹿児島県 ※別途計画
9	○小・中合同研修会（講話） ○小・中別研修会（課題研究、情報交換等）
10	○小・中別研修会（講話、課題研究、情報交換等）
11	○県教頭会研究大会 ○小・中別研修会（講話、課題研究、情報交換等）
12	○小・中学校研修会（講話、課題研究、情報交換等）
1	○小・中別研修会（講話、課題研究、情報交換等）
2	○小・中合同研修会（全体のまとめ） ○小・中別研修会（課題研究のまとめ、情報交換等）

# 支会だより

## 西臼杵支会

### 1 構成

本支会は、高千穂町（小学校5校、中学校2校）日之影町（小学校3校、中学校1校）五ヶ瀬町（小学校4校、中学校1校）の教頭で構成されている。

### 2 支会役員

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	河 野 靖 司	高千穂町立高千穂中学校
副 会 長	柴 岡 浩 介	五ヶ瀬町立三ヶ所小学校
副 会 長	三 木 雅 寿	日之影町立高巢野小学校
総 務	井ノ久保 貴雄	高千穂町立上野中学校
会 計	黒 木 秀 一	高千穂町立岩戸小学校
研 究 部 長	田 中 匡 浩	日之影町立宮水小学校
法 制 調 査 部 長	長 友 良 仁	高千穂町立上野小学校
広 報 部 長	原 田 育 夫	五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校

### 3 研究の内容

#### (1) 研究の目標

- ① 各町の教育理念に基づく学校教育の実現
  - 「ふるさと教育」をはじめ、小規模校ならではの特色ある教育の実現を目指す。
- ② 教頭としての力量の向上
  - 幅広い視野に立って、学校運営が行われるように、学校教育に関する識見を高める。

#### (2) 研究の方針

- ① 学校教育の課題の究明
- ② 教頭としての資質向上
- ③ 各町の組織的・継続的な研究と研究成果の活用
- ④ 県教頭会提言のための課題内容「子どもの発達」の研究

#### (3) 研究の方向

- ① コミュニティー・スクール（学校運営協議会）を通じて、各学校の課題を明らかにし、地域・保護者の信頼に応えられるような学校教育の望ましい在り方を究明する。
- ② 各町における実践を紹介しあい、更に良いものにするために教頭としてどう関わっていくべきか意見を出し合いながら、資質の向上に努める。
- ③ 県教頭会提言に向けて、臨時的な研究会の実施と諸調査結果の分析を通じて情報の共有化を図る。
- ④ ①～③についてまとめ年度末に報告会を実施する。

#### (4) 郡教頭会総会及び研修会

第1回総会・研修会	期 日	令和4年5月20日(金)
	会 場	高千穂町中央公民館
	内 容	令和3年度会務・会計報告、令和4年度事業計画案・予算案
第2回研修会	期 日	令和4年11月18日(金)
	会 場	高千穂町中央公民館
	講 師	五ヶ瀬町教育長 渡木 秀明 様

#### (5) 役員会及び県・九州・全国教頭会参加計画

月	日	曜	事業名	研修内容など
5	13	金	郡教頭会役員会	総会・研修に向けての準備及び確認
7	28	木	全国研究大会(岩手)	高千穂・五ヶ瀬から1名ずつリモート参加～29日
8	17	水	九州地区研究大会(鹿児島)	高千穂・日之影から1名ずつ参加～18日
9	13	火	県教頭会のための役員会	日之影中発表のための中間報告及び協力確認
11	7	月	県教頭会研究大会	役員参加
1	20	金	各町研究のまとめ	各町での取組まとめと次年度に向けての研修
3	3	金	郡役員会での研究報告	郡での報告と次年度に向けての確認

#### (6) 各町教頭研修会

- ① 五ヶ瀬町が毎月、高千穂・日之影は毎月ではなく年間の計画に基づいて研修会を行っている。教育長、指導主事も出会し共通理解を図っている町もある。
- ② 教頭が中心となって、夏季・冬季休業中の研修として、コンプライアンス研修を実施している。

### 4 その他の研修(教頭会を中心に郡内の教職員に進める研修)

#### (1) 目的

学校経営についての理論と運営の実際を研究し、学校における正常な運営能力を高めることを目的とする。

#### (2) 研修計画

期 日	内 容
令和4年7月4日(月)	講話Ⅰ「職員の服務と法令遵守」 講 師 五ヶ瀬町校長会 松山 弘治 校長
令和4年7月14日(木)	講話Ⅱ「学校経営において求められること」 講 師 高千穂町校長会 榎本 英雄 校長

### 5 その他

県教育委員会の重点取組を各学校で全職員に周知し、コロナ禍における県内の子どもの実態について共通理解を図り、学校の管理・運営に活かす。特に「いのちを大切にできる教育」の推進に力を入れ、定期的な教育相談と「SOSの出し方に関する学習」や「いのちの教育週間」の設定をしながら全職員で取り組めるよう教頭としてのリーダーシップを発揮する。

# 各支会新任副校長・教頭 随想

## 「責任の重さを実感し」

宮崎市立江平小学校 永野 智子

初めての教頭職について、3ヶ月が経とうとして、少し教頭先生と呼ばれることに慣れたところである。3ヶ月前まで教諭として約30年働いてきた私は、まだまだ教諭としての感覚や意識が抜けない。日々、仕事をする中で、教頭という立場へ意識を変えていきたい。今年一年は、まず教頭としての役割や仕事を覚え、子どもたちや職員や保護者の方々に寄り添い、支えることのできる教頭を目指していきたい。教頭としての責任の重さを実感しながら、先生方が笑顔で働きやすく・風通しのよい職場作りができたらと考える。

江平っ子 夢と希望は 無限大

## 「子どもたちの日々の成長を楽しみに」

宮崎市立東大宮小学校 酒匂 優子

教頭職という新たな仕事内容に奮闘する日々であるが、赴任して3ヶ月が過ぎた。朝のルーティンは、校舎の開錠・窓開けから始まり、児童玄関・渡り廊下の清掃、児童の登校が始まると靴箱での挨拶と出迎えである。5月の連休明けくらいまでは、登校時に保護者に連れられ、泣きながら登校して来る児童が多い。学担をしている頃は、1年生を担当することが多かったが、「ママがいい!!」と泣き叫ぶ児童の対応、それが毎朝ともなると、担任の心配事の一つとなる。靴箱で出迎えていると、毎朝泣きながら保護者に連れられて登校して来る児童が数名いた。声を掛け、手をつなぎ教室まで連れていく日々が続いたが、5月過ぎになると、泣かずに登校できるようになり、「今日は、教室までひとりで行ける。」と言い、今では元気に挨拶ができるまでに成長している。学担からは離れても、子どもたち一人一人の日々の成長が楽しみであることに変わりはない。

～あいさつと笑顔があふれる東大宮小学校～

## 「新任教頭として」

宮崎市立生目南中学校 日高 徹

教頭としてこの生目南中で仕事をするようになり、3か月が経とうとしている。4月1日に不安しかなかった状況と比べるとようやく落ち着いて仕事ができているように感じる。

校長先生のご指導の下、明るく前向きな職場の先生方に支えられながら、教頭としてできるだけ学校全体を見渡し、自分に何が出来るかを考える日々を送っている。

本校は、「5つの挑戦」として生徒会の積極的なかわりを通して、本校の強みをさらに質の高いものにしていくとする取組を行っている。リーダーシップを発揮される校長先生の姿を見ることで管理職としての学校への関わり方を学ぶ毎日を過ごしている。

教頭としてこの学校でスタートできたことを本当に感謝している。微力ながら、本質を見極め自分にできることを考え、生徒や職員のために本校に関わる全ての人と協力しながら、魅力ある学校づくりに頑張っていきたい。

みんなが輝き、みんなが幸せな学校 ～ 思いやり・5つの挑戦で日本一 ～

## 「縁」

日南市立酒谷小学校 萩山由貴

酒谷小学校は、明治5年開校の歴史と伝統ある学校です。清流酒谷川や日南市最高峰の小松山の雄大な姿に囲まれた本校は、全校児童3名の極小規模校です。この3人の児童は1学期の始業式から誰一人休むことなく元気に登校していて、欠席ゼロ記録を更新中です。先日は、「昔ながらの田植えを体験」と題し3人が取材を受け、その様子がTVやラジオで紹介されました。反響も大きく、その後のホームページ訪問者は1日当たり600名を超えました。

今は閉校している酒谷中学校に、平成24年度まで教諭として勤務していました。当時ブリッジで酒谷小の音楽の授業を担当していたこともあり、懐かしい学校で教頭職をスタートすることになりました。日々慣れないことばかりで、未だに「教頭先生」と呼ばれることにも慣れませんが、支えてくださる先生方に感謝しながら、保護者や地域の期待に応えられるよう全力でがんばります。

「**か**んせいの豊かな」「**か**まん強くがんばる」「**や**さしい」「**き**ょうりよくする」酒谷っ子

## 「地域の中の学校～Team Ookubo～」

日南市立大窪小学校 酒井 敦

大窪小学校は、明治6年（1873年）に開校し、創立149年の歴史を誇る伝統ある学校です。

『♪朝日輝く男鈴山～♫』 『♪蜜柑の花の香る丘～♯』 『♪大窪川の水清く～♭』これは、大窪小学校校歌1番・2番・3番の歌い出しの部分です。この歌詞にもあるように、本校は、緑に恵まれ空気も水も澄みきった環境の中にあります。また、地域では柑橘類の栽培が盛んで、どれを食べてもとてもおいしく、「大窪ブランド」として県内外に出荷されています。

このように、自然豊かで落ち着いた環境の中にある大窪小学校に赴任することができたことに、心から感謝しています。6人の児童と6人の職員という極小規模校ではありますが、8人の保護者と地域の方々から見守られ、支えられながら、充実した日々を過ごさせていただいています。

最後に、児童はもちろん、保護者や地域の方々から「いい学校だね」と言っていただけのように、私にできること、また、私にしかできないことに全力で取り組んでいきたいと強く思っています。

☆喜びいっぱいの学校 ☆感謝いっぱいの学校 ☆夢いっぱいの学校  
「すべきことをきちんとていねいに」「一人一人が宝物」

## 「必要とされる教頭に」

西都市立穂北小学校 畑田史人

穂北小学校に赴任して3か月が経ちました。期待と不安の中、4月1日に赴任しましたが、まず、植野義也校長先生と話をして安心し、職員と話をもっと安心しました。さらに、4月7日の始業の日に子どもたちと出会い、多くの子どもたちと話をして、ますます安心しました。保護者や地域の方も話しやすいばかりで、そこでも安心しました。

そんなすばらしい穂北小学校は、福祉体験、稲作、ピーマン作り、凧作りなど地域の方に支えられて行われている活動もたくさんあります。4月には、保護者と職員で協力して鯉のぼりをあげ、子どもたちの健やかな成長をみんなで願います。

この穂北小学校に関わる全ての人に、自分の不安を「安心」に変えていただきました。そんな人たちに私ができることは、教頭として精一杯尽くすことです。「必要」とされる人になりたい、日々そう考えながら精進しています。

ほ～褒める き～鍛える た～高め合う チーム穂北

## 「マリオカート」

西都市立三納小中学校 河野 哲志

乗用型草刈り機。通称マリオカートで運動場の草を刈り込む。しかし、鉄棒の柱や木々の幹と地面との際（きわ）に生えた草たちは、残念ながらマリオカートでは刈り込めない。肩掛け式のエンジン草刈り機に変えて刈る。私は、ナイロンカッターで際のギリギリを攻めるのが好きだが、小学部の教頭はチップソーがお気に入りである。器用に、チップソーを使いこなし、どんどんどんどん私よりスピーディーに美しく刈り込んでいく。時には、事務の専門主事が、なれた手つきで経験の差を見せる。私がいくらスターターのロープを引っ張っても掛けることのできなかった草刈り機のエンジンを一発で掛ける。曰く「彼らにはそれぞれ癖がある」とのこと。ふと、隣の旧中学校を見ると、校長が自前のチェーンソーで木の剪定を行い、丸太が美しく積まれている。

草刈り一つとっても、自分は、まだまだだと思ふ日々である。

未来を切り拓く気概をもち 自ら学び 心豊かに たくましく生きる 三納っ子

## 「カオナシになってないか」

高鍋町立高鍋西中学校 花田 直樹

赴任先が決まった直後、前任校の教頭先生が「もう自分の名前で呼ばれることはないからね」と言われ、案の定4月当初の職員室で「教頭先生！」と呼ばれても気づかずに、2回目の「教頭先生！」でようやく気づくことが何度もあった。新任教頭研修会で、講師の先生が「千と千尋の神隠し」に出てくる、カオナシになっていませんか」と問われたことがあった。「教育委員会の方針です・・・」とか「校長先生が言われたから・・・」などと言いつつ、教頭としての存在を消して、責任逃れをしていないか、ということであった。まさしくその時の自分がその「カオナシ」の状態であった。

教頭として3ヶ月経つが、日々の業務の多さも重なって、未だに「カオナシ」である。自分が理想としている教頭像には、1ミリも近づけていない。少しでも早く教頭職に慣れ、「教頭先生！」と呼ばれて元気よく「はい！」と返事をして心からの対応ができる教頭になりたと思う、今日この頃である。

高鍋西中は、自らの未来を切り拓き、郷土を愛する心豊かでたくましい生徒を育成します

## 「学び続ける」

長友 智子

新富町立新田中学校

新任教頭として赴任してから四ヶ月、あっという間でした。教諭とはまた違った勉強をしてみたいという思いから、教頭職へとチャレンジしましたが、当然のごとく全てが初めての業務で、わからないことばかり。校長の「何でも聞いて」という言葉をありがたく受け止め、常に誰かに聞きながらの毎日です。自分がすべきことの優先順位もままならず、様々な面で先生方にご迷惑をおかけしていますが、日々学び成長できるよう努めるしかないと考えています。

昨年まで学級担任をしていたので、教頭として生徒との関わりがずいぶん少なくなってしまったことを寂しく感じています。しかし、生徒の笑顔や伸びやかに活動する姿を学校生活の様々な場面で見られるよう先生方を支援することも教頭として大切な役割だと思います。学校内だけでなく保護者や地域の方々とも協力しながら、これからも学びながら仕事に励もうと思います。

夢や希望をもち 心豊かに とともに伸びゆく 新田の子どもたちの育成



## 「『信じる・任せる・見届ける』管理職の魅力」

都城市立西小学校 鈴木 弘 一

一番下はまだ2歳です。私には6人の子どもがおり、現在子育ての真っ只中。本校は本年度より教頭が二人体制になりました。同時に赴任したのは愉快な大先輩。初心者マークの私に、笑いを交えながら業務について分かりやすく教えてくださいます。先日、急に3女の具合が悪くなりましたが、そんな時もサポートしてくださるので安心です。萱嶋教頭先生、いつもありがとうございます！

私はこれまで生徒指導主事や6学年担任・学年主任を務めてきました。自らが動いて児童を導くこと、学校全体を変容させていくことに喜びを感じてきました。しかし、教頭の仕事は『信じる・任せる・見届ける』ことだと分かってきました。思いを伝え、その後は職員に託す。時にはもどかしく、勇気のいることですが、最近はこの業務に魅力を感じてきました。本校、長谷川校長も、私を信じて任せてくださっています。そんな期待に応えるべく、今日も一日元気に笑顔で務めます！

母智丘へ続く桜のトンネルが自慢！明るく素直な子どもたちが、元気に学ぶ都城・西小です。

## 「「一里塚」だけではなかった地域の宝」

都城市立今町小学校 新町 幸子

中学校教諭から小学校の教頭となって3か月、素直でかわいい児童に囲まれながら、地域とより密接な結びつきを感じる毎日を過ごしている。育てた多数の鉢花を入学式会場の入り口に飾り、学級担任と一緒に1年生の下校に毎日付き添ってくださる地域の方。奉仕作業では、農場の芝刈り機で草を刈り、様々な重機や機械で効率よく作業をしてくださったPTA。運動会に向けて、計画的に指導に来てくださる民俗芸能「俵踊り」保存会の方々。地域を見守って、用水路沿いの危険個所に看板設置をしてはと学校に伝えてくださる方。毎週、紙芝居と絵本の読み聞かせに来てくださる方々。様々な団体があり、地域を盛り上げようと熱心に活動している方々。わずか3か月で紙面に書ききれないほど地域との結びつきを感じることができたのも、小学校、いや、今町小学校の教頭になったからこそだと思う。教頭として地域に還元できることを考えて実践していきたいと思う。

『一里塚 俵踊りに 素直な子 地域が育てた 今町の宝』

## 「ありがとうの連鎖」

都城市立丸野小学校 丸目 寛之

新任教頭として早2か月が過ぎました。赴任したばかりで右往左往しながら、提出物のメ切に追われる日々。管理職という立場になってみて分かる大変さ・責任の重さに、これまでお世話になってきた管理職の先生方へあらためて感謝の気持ちと尊敬の念を抱いた次第です。

そんな毎日の中で気付いたことがひとつ。それは、本校職員の間では、感謝の言葉をとても多く耳にするということ。返ってきた決裁伺届に書かれた校長先生の「ありがとうございます」、玄関掃除や職員室掃除をしていると「ありがとうございます」と言ってくれる職員。毎日「ありがとう」が溢れる職場です。たくさんの人に支えられ今の自分があることに感謝しつつ、愛ある「ありがとう」を当たり前前に伝え、皆を支えることのできる管理職を目指し精進していきたいと思えます。

合言葉は「丸野(愛)」自分を、家族を、友を、地域を、日本を、世界を愛する丸野っ子

## 「地域が育む心身共にたくましい子どもたち」

都城市立西岳小学校 柿 並 祐 次

平成に入る前、100名を上回る児童数を誇っていた西岳小学校も、今や過疎化の波に飲み込まれてしまいました。現在子どもたちの数は18名。全学年が揃いつつも、完全複式学級で日々授業を行っています。子どもたちには、屈託のない笑顔があります。先生や友達、そして地域の方々と接する姿はとても明るく、勇気さえ与えられるほどです。

静かな環境です。しかしながら、県道31号線は霧島に向かう乗用車・トラックで結構にぎわってもあります。朝、登校指導の折りに児童たちの元気なあいさつを耳にすることができます。時折、地域の方々が乗用車の窓から手を振ってくださることもあります。温かい視線をいただきながら、子どもたちの成長のお世話をできることに感謝の想いでいっぱいです。

子どもたちには、この生まれ育った地域を誇りに思っ、たくましく育って欲しいものです。

「知恵 いっぱい」「笑顔いっぱい」「やる気いっぱい」2学期からは新校舎です。

## 「初めての都城」

都城市立志和池中学校 假屋 啓一郎

初めての仕事、初めての土地、二つの初めてが重なって何年かぶりに一日が過ぎるのが長く感じながら仕事をさせてもらっています。毎日の予定や職員や保護者のことを常に念頭におきながら仕事をする日々はまだとまどうばかりです。しかし、校長先生を初め、頼りになる職員のおかげで迷惑をかけながら日々仕事に取り組んでいます。都城に来て一番驚いたのは、先生方の仕事への取り組む姿勢です。若手の先生が生徒の中に飛び込んで熱心に授業や部活に取り組む姿は勿論、ベテランの先生方も学校の中心となり、生徒の指導や若手の職員へアドバイスする姿です。また、志和池中学校の生徒は、礼儀正しくとても明るい生徒ばかりです。廊下でも必ず立ち止まり「こんにちは」とあいさつをしてくれます。こちら1日100回以上は頭を下げていると思います。私も早くこの素晴らしい学校で皆さんの役にたてるような存在になりたいと思っています。

「志和池ブランド ～時代の最先端を走り続ける～」

## 「教頭先生と呼ばれて」

都城市立西岳中学校 福松 直樹

教頭として赴任し早3ヶ月が経過した。これまで福松先生と呼ばれていたが、4月1日赴任早々、「教頭先生」と事務職員から初めて呼ばれたことが強く印象に残っている。「ああ、自分は教頭先生なんだ。」と実感した。これまで教諭等時代は、「福松先生」と呼ばれてきた。校長先生を始めとした職員はもちろん、生徒からも「教頭先生」と呼ばれ、果たして皆さんは私の名前を知っているのだろうかと思っている。

ところで、教諭等時代とは違い、教頭としての仕事は始めて行うことだらけである。PTA庶務はもちろん、地域とのつながりである学校運営協議会の計画等、生徒と授業や部活動で関わるのが中心であった日々が大きく様変わりし、毎日があっという間に過ぎ去っている。これからもできることからコツコツと行い、多くのことに貢献できるよう努めていきたい。

『「気付き、築く」 「学校・家庭・地域みんなでアップデート」』

## 「「出会い」への感謝」

小林市立東方小学校 林 政 孝

東方小学校は、ICTの活用推進や日本でも珍しい支援学校との併設、地域がもつ文化遺産など、様々な「東方ブランド」をもつ学校である。そのような学校に、新任教頭として赴任した私を出迎えてくれたのは、111名の元気な子どもたちと活気に満ちた先生方、熱心な保護者、学校に対してとても協力的な地域の方々である。

私自身が元々中学校理科の教員であったことから、果たして校長先生や職員、地域の期待に応えられるのだろうか、私にできることは何なのかと焦りや不安のある毎日である。しかし、校長先生をはじめ先生方の力強いバックアップや、子どもたちの元気な笑顔、保護者や地域の方々の温かさに励まされながら、まさに「出会い」に助けられながら何とか務めることができている。この「出会い」に感謝し、周囲にとっても「よい出会い」となるよう、全力を尽くしたい。

「すべては子ども達のために 東方小 心は一つ！」

## 「「わくわく」の比率を上げて」

小林市立三松小学校 濱崎 かおり

初めての教頭職、初めての小林市での勤務に初めてのことが決して得意ではない私は「わくわく」よりも「どきどき」の比率を随分高くして4月1日の朝を迎えました。「教頭先生。」と呼びかけられているのに自分だとは思わず、「教頭先生、早く返事したらいいのに・・・。」と思ったり、来客対応で玄関に出て行くと、「教頭先生をお呼びしています。」と言われて「私なんです。」と笑ったりと自覚に欠ける日々がしばらく続いていました。最近になってようやく「教頭先生。」という呼びかけには割と早く反応できるようになったところです。そんな私に、校長先生は、どんな小さなことでも取り上げて褒め、認めることで伸ばそうとしてくださったり、先生方は「学校が明るくなった気がしますよ。身体を大切にしてくださいね。」と労いの言葉をかけてくださったり、たくさんの温かさに触れて2か月を過ごしてまいりました。保護者の皆様や地域の方々のたくさんの助けに感謝しながら、明るい気持ちを大切に、学校と地域が一緒になって「三松魂」を育てていきたいと考えています。

HOW to (ねばならない) からWant to (やりたい、わくわく) へ  
三松小全員で目指す「Want to」

## 「感謝を忘れず 学んだことを伝える人に」

小林市立永久津中学校 玉井 教 広

4月から「名前」でなく「教頭先生」と呼ばれるようになった。「教頭先生」の呼びかけに、すぐに返事ができなく戸惑うと同時に、これまでと違う業務に不安を感じながら一つ一つ確認をしながら仕事を終わらせる日々が続いた。不安をもちながらのスタートであったが、校長先生・前任の教頭先生のおかげで、本来であれば、慌ただしく過ぎていく4月に余裕がもてた。本当に「感謝である。」これまでも、勤務した学校で多くの先生方に支えていただいて、今の自分があると感じている。

学校は、「チームで動く」ものである。当たり前のことであるが、職員間の結びつき次第で効果は違ってくる。教頭として、学校のチーム力を発揮できるように、「感謝」の気持ちを忘れずに、これまで自分が学んだことを生かし・伝えながら、先生方とともに動いていきたい。

自信と誇りをもち、知・徳・体・食バランスのとれた、夢をかなえる永久津中生!

## 「地域とともにある学校を目指して」

延岡市立東小学校 城 後 誠

本校は、延岡市のほぼ中心部、10号線沿いに位置する児童数531名、教職員数33名の中規模校である。新任教頭として、右も左も分からぬまま目の前の業務に終われる3か月であった。業務上、直接児童と接する機会は少ないものの、登下校や廊下ですれ違う際に、「新しい教頭先生ですか」「教頭先生、折り紙で作ったうさぎをあげます」など、フレンドリーに話しかけてくれる児童もおり、嬉しさと戸惑いの不思議な感覚を味わっている。

延岡市では、令和5年度までに全ての公立小中学校に学校運営協議会を設置し、順次コミュニティ・スクールを導入する計画である。本校も、今年度から本格的にコミュニティ・スクールとしてスタートを切った。1学期も学校運営協議会及びワーキンググループにおいて熟議を行い、東小学校の未来について語り合ったところである。また、本校は今年度、宮崎県の「いじめ未然防止に関する取組推進校」にも指定されている。コミュニティ・スクールの機能を活用しながら、学校・保護者・地域で協働し、いじめゼロの地域とともにある学校づくりを推進していきたい。

自分の考えを、自分なりの表現方法で伝え合い、納得解を生み出す子どもの育成

## 「黒岩の宝は地域と共に育む」

延岡市立黒岩小中学校 大 石 彰

施設一体型の小中一貫校として9年目を迎える本校は、延岡を流れる祝子川沿いに立ち、周囲を緑に囲まれた自然豊かな環境にあります。地域の学校に対する支援と協力は顕著で実にありがたく、タイトルの通り「地域の子ども達を地域が見守り育てる」という習慣が今もしっかりと継承されています。小中合同での行事も多く、体育祭にふれあい田植えやもちつき、ふれあい花壇といった地域の方々との交流の中で生徒達は様々な学びを続けています。

このような恵まれた環境に新任教頭として赴任した私とはいうと、5年ぶりの学校現場への戸惑い、一貫校により初となる小学生対応へのギャップ、進むICT活用への出遅れに加え、そもそも教頭業務とは？と不安を抱えたまま気がつけば3ヶ月が経過しました。今後は、生徒のため、職員のために今の自分には何ができるかを考えながら、日々の業務に専念していきたいと思えます。

①通うあいさつ ②ある言葉かけ ③からの感謝 → 「伸びよう 心豊かに たくましく」

## 「日知屋東小に赴任して」

日向市立日知屋東小学校 黒 木 徹 郎

本校は、伊勢ヶ浜から時折吹いてくる東風に潮の香りを感じる日向市の東側に位置し、広い住宅地や商業地で囲まれている。校区内には、歴史ある大御神社や日知屋城跡等があり、明るく元気な全校児童519名が通う創立44年の学校である。

「豊かな感性とたくましく生きぬく力をもつ子どもの育成」を教育目標に掲げ、特に自己有用感を高める指導や働きかけに重点を置き、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に全職員が一丸となって取り組んでいる。また、保護者や地域の方々とも連携を図り、温かな支援をいただきながら、日々教育の効果を高めている。管理職として慣れない日々が続いているが、「教頭」と呼ばれることには随分慣れてきた。今後、日知屋東小学校区を盛り上げていくためにも、地域に出る機会を設け、地域と学校をつなぐ顔として日々邁進したい。

夢に向かって努力する子どもを育成する日知屋東小学校



## 「1日の始まり」

日向市立日向中学校 八木 彩香

つくづくご縁を感じる。文化財課では、日向市のアカウミガメ・細島灯台などの文化財指定・登録、建造物や仏像の調査で、市教委や所有者の方々にとってもお世話になった。国民文化祭・障害者芸術文化祭課に出向した際は若山牧水や短歌の担当となり、これまた日向市教委や記念文学館の皆さんに一から教えていただいた。そして今度の赴任である。足繁く通った地で働くことになるろうとは。7年ぶりの学校はまるで別世界。「この人大丈夫？」先生方がそう思ったのも1度や2度じゃないはずだ。「失敗したな」と思うこともある。そんなときはここにあるたくさんの文化財を想起する。100年単位で残り続ける建物や仏像や史跡から見れば、私のわずか3ヶ月の教頭経験などに大きな意味はない。アカウミガメだって、たった一人大海を渡りお倉ヶ浜にたどり着くのに数十年かかるという。朝、こんなことをぼんやりと考えながら正面玄関の鍵を開け、また1日始める。

日向中生は市指定無形民俗文化財「永田のひよっこ踊り」の継承に貢献しています

## 「新任教頭雑感」

門川町立五十鈴小学校 瀧川 美和

6月の新任教頭研修では「周囲360度から期待される役割を果たしているか。業務に追われているだけではないか。」と問われた。その通り、自分の見識の狭さに愕然とし、未熟な資質と能力に、ただただ申し訳ない思いに苛まれる日々である。しかしながら、それは百も承知で、自分を変えるべく覚悟して挑んだ。一日一日、職能の基礎を得、修養を積むための貴重な経験をいただいている。門川町立五十鈴小学校は、新任の私を懐深く迎え入れてくださり、多くの学びを与えてくださる、自分にとっての「道場」である。魚の町門川町西部に位置し、水田や果樹園、山林等に囲まれた緑豊かな農村地帯の一角にあり、地域とともにある教育を大切にす人情味にあふれている。新任の教頭を粘り強く育ててくださっていることに、心からの感謝と敬意を払い、大海の一滴ではあるが、期待される役割に精一杯応えられるだけの力を培っていききたい。

「自信と誇りと夢をもった五十鈴っ子の育成」

## 「学び成長するとき」

椎葉村立不土野小学校 松本 陽慈朗

不土野小は、緑豊かな山間部に位置する全校児童9名の小さな学校です。毎朝、子どもたちの「お願いします。」の声で1日が始まります。子どもたちの大きな声で先生たちは玄関に集まり、子どもたちは元気な声での挨拶をします。そして、「春暁」等の漢詩や「枕草子」等の随筆を読み上げます。教頭として、分からないことばかりですが、この明るく元気な子どもたちや先生方、保護者や地域の方々に様々なことを教わり、色んなことに気付かされる毎日を送っています。子どもたちが学びやすく、先生方が働きやすく、保護者や地域の方々が安心して子どもたちを送り出せるような学校を目指して、教頭としてできることを常に探しながら、この数ヶ月を過ごしてきました。これまでの自分では考えられないような生活、仕事です。正直、忙しくて大変なことも多いですが、教師として、人として自分をさらに成長させるよい機会だと思って頑張っています。

椎葉村の人、自然、伝統文化を学び、椎葉村を愛す「ちびっこ落語」の学校 不土野小学校

## 「『かてーり』の精神を肝に銘じて」

椎葉村立椎葉中学校 久壽米木 教寧

椎葉中学校では、校長の学校経営方針のもと、『チャレンジの椎葉中』をキャッチフレーズにして、学力アップ、心の成長、健康に日々チャレンジしている。『かてーり』とは椎葉村の方言で『助け合い』という意味であり、お互いが助け合いながら地域活動が行われている。管理職を含めた13名の教職員も助け合いながら日々の職務に当たっている。私は管理職として、毎日全職員と話すことを心がけており、風通しのよい職場環境を整え、スキルアップのために自己研鑽に励む雰囲気醸成を図っている。私自身が前回の椎葉中学校勤務の時にライフプランを熟考して管理職を目指すことと決意した経緯があるので、その経験を職員に伝えることにより、職員もスキルアップにチャレンジしてもらいたいと考えている。純朴な生徒と協力的な保護者に囲まれた環境の中で、管理職としてのスタートをきる事ができた幸せを感じながら熱意をもって職責に当たっていく強い覚悟がある。

公立中学校では、県内唯一の寮があり、全校生徒55名のうち36名が寮生活を送っています。

## 「縁あって… 心から感謝」

高千穂町立押方小学校 長野 多栄子

4月から高千穂町の押方小学校で新しい学校生活がスタートしました。3月までとは全く違った仕事内容に毎日戸惑うことが多かったです。理科指導も担当しているので、ダブルの初心者マークで苦戦しているところです。加えて、虫が苦手なので、ドキドキの日々を過ごしています。

押方小学校は、全校児童34名で小規模校ならではの教育ができ、温かい先生方に囲まれたアットホームな雰囲気のとてもよい学校です。日々、子ども達の頑張る姿や一生懸命に取り組む様子を目にしている、心から癒やされています。また、保護者の方々や地域の方々の学校を大切にしたい思いや、惜しみなく協力して下さる姿など大変有り難く思っています。

「置かれた場所で咲きなさい」の本にもあるように、縁あってこの押方小学校に赴任させていただいたので、与えられた場所でこれからも誠実に精一杯仕事をしていきたいと思えます。

自然豊かな「森の学校」で、子ども達一人一人が輝く押方小学校

## 「落葉帰根」

高千穂町立上野小学校 長友良仁

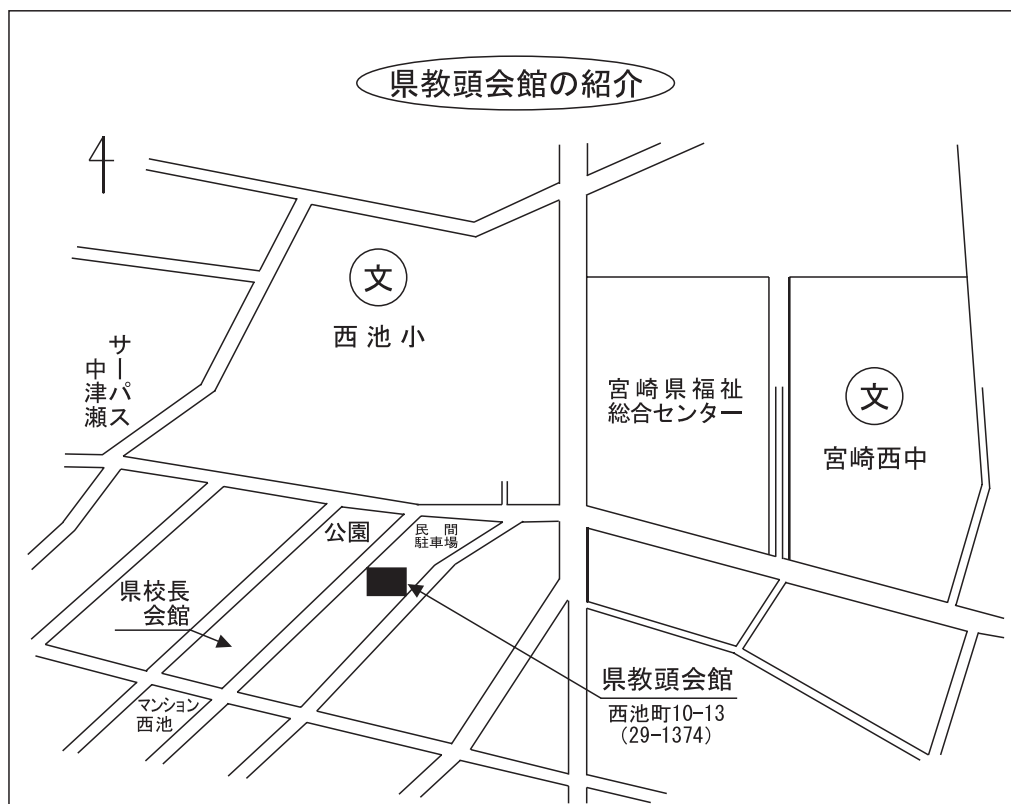
幼少期を過ごした思い出の地、高千穂町に40数年ぶりに住むことになった。夏は虫取り、秋には栗拾い、冬には雪だるまづくり「山紫水明」の地、高千穂で遊んだ記憶は、私の原点でもある。

4月に赴任して当時住んだ所から、幼稚園まで徒歩で通った記憶をたどり、車で通ってみた。案外覚えているもので、バイパス道路が通り一部道路が変わっていたものの、幼稚園まで到達できた。

幼い頃育った記憶は、ここ上野小学校に通っている子どもたちも同じであろう。本校は小・中学校が併設された単一校舎3階建に、児童57名、生徒27名の子どもたちが毎日元気に過ごしている。地域に残る伝統芸能である、棒術や上野臼太鼓踊り、夜神楽。お米学習での田植えや芋の苗植えなど学校や地域、自然の中で学んだ記憶は、五感を刺激しその後の人格形成となる。その様な体験から、ふるさと高千穂での記憶が心のより所となる子どもたちも少なくない。思い出の地である高千穂で、地域のために貢献できることに感謝しながら、子どもたちと過ごしていきたい。

㊦ がやく元気 ㊧ んなで伝承 ㊨ びゆく上野小・中学校





## 編集後記

例年より短い梅雨が明け、夏本番を迎えて、毎日の暑さに苦労しながら校務に励む日々を過ごしています。

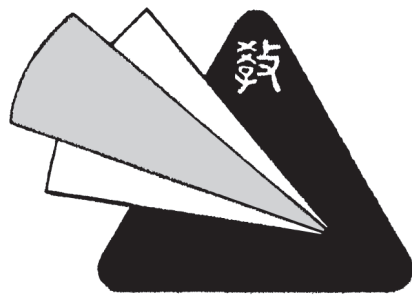
今年は、新型コロナウイルス感染者数の緩やかな減少が続いていましたが、再び増加に転じ、第7波が心配される状況となりました。いったい、いつまで続くのかと気持ちも沈みそうになりますが、現実を素直に受け止め、感染防止対策を淡々と行うことが教頭職にある私たちの仕事であるとする今日この頃です。

夏季休業中も多くの業務があり、ゆっくりと過ごす時間はありませんが、リフレッシュウィークも設定されていますので、一息ついて自分自身の時間をとりたいものです。

今年度、県教頭会広報担当となり、各支会の広報担当の先生方の協力を得て、無事に第141号が完成しました。随想の執筆にご協力いただいた新任教頭先生方に心から感謝申し上げます。全会員の皆様にとって有意義な夏となりますことをご祈念いたします。

令和4年7月

宮崎県公立小中学校教頭会 広報部



MVPA